

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	外国青年（国際交流員）招致事業			事業番号	008-021
担当部署名	文化観光	局	国際	部	国際課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	有・無	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう				
		有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進				
3	事業開始年度	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市国際化方針						
5	事業開始年度	平成 3 年度	点検年度	令和 7 年度				

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	在住外国人を含む市民、本市職員、外国人賓客等	対象数	—		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域レベルでの国際交流の推進、翻訳・通訳を通じた地域の外国人市民の生活環境整備、海外姉妹・友好都市との交流の促進、及び市内の人材育成を推進することを目的とする。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>総務省・外務省・文部科学省の三省連携により実施されるJETプログラムに基づき、一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）を通して、国際交流員（CIR）を招致（英語圏1名、中国圏1名）し、次の業務に従事している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流関係事務（通訳・翻訳・監修、外国人賓客の接客等）</li> <li>・外国人市民への情報発信における翻訳・監修</li> <li>・本市職員に対する語学指導への協力</li> <li>・地域民間国際交流団体の事業活動に対する助言</li> <li>・地域住民の異文化理解のための交流活動及び在住外国人生活支援</li> </ul> <p>※中国圏CIRは、新型コロナウイルス感染症拡大のため、R2途中から未着任</p>				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	一般財団法人自治体国際化協会				
10	公民連携・協働事業					

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	件	実績		目標	目標	点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
				目標値	100	100	100	120
				実績値	86	82		
達成率		86%		82%				
当該指標を選定した理由		行政資料の多言語化は不可欠であり、翻訳、翻訳監修依頼件数は本市の国際化への対応状況を図る指標として適当であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		庁内・外からの翻訳及び翻訳監修の依頼件数を計上。過去の実績から目標値を設定。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	件	実績		目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		
				目標値	10	5	8	
				実績値	0	5		
達成率		0%		100%				
当該指標を選定した理由		国際交流員が庁内外への派遣を通じて活躍することで、翻訳等の依頼が増えることにつながるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		出前講座や市民からの講座開催、庁内外の通訳協力依頼件数を計上。過去の実績から目標値を設定。						

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	外国青年（国際交流員）招致事業	事業番号	008-021
-------	-----------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	10,772	6,913	12,520	6,557	13,364	
13 財源内訳	国支出金				653	
	府支出金				0	
	市債				0	
	その他（職員公舎貸付料）	1,442	807	1,512	756	1,512
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	9,330	6,106	11,008	5,801	11,199	
14 人件費 (b)	3,660	2,220	3,740	2,220	4,210	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	14,432	9,133	16,260	8,777	17,574	

#### 事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
	R4 予算 7,320	7,320		R4 予算 565	565		
16 事業費内訳	R3 決算 720	0	自治体国際化協会負担金	R3 決算 92	92		
	R4 予算 1,560	120		R4 予算 184	184		
建物借上料【公舎借上】	R3 決算 36	0	傷害保険料負担金	R3 決算 22	22		
共益費【公舎借上】	R4 予算 72	0		R4 予算 47	47		
その他使用料及び賃借料【公舎借上】	R3 決算 108	108	渡航費用負担金	R3 決算 0	0		
	R4 予算 217	217		R4 予算 480	480		
外国青年（国際交流員）招致事業正会員負担金	R3 決算 1,200	1,200	その他（旅費、印刷製本費等）	R3 決算 439	439		
	R4 予算 1,200	1,200		R4 予算 1,719	1,066		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		① 行政資料等の翻訳、翻訳監修依頼件数	件
② 上記①にかかる年間経費	千円	4,719	4,653
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	54,872	56,744
備考（算出についての説明等） 本事業に係る一般財源を年間経費として算出			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 令和3年度においては、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響から、通訳協力や出前講座等の依頼件数は平時に比べ少ない状況である。反面、コロナ関連の行政資料等の翻訳や翻訳監修依頼件数は依然として多くあり、件数は、前年度から約5%減に留まった。なお、「Ⅳ. 事業の効率性」の単位当たりの経費が前年度比で約3.5%増となっているのは、翻訳や翻訳監修依頼件数が微減したことによる。

国際交流員の活動は、国際交流関係業務のみならず市民向け異文化理解にも大きく貢献していることに加え、招致に係る経費は、国から地方交付税による財政措置があるため、市が直接雇用することや民間業者委託で実施するより費用負担が少ない。さらに、JETプログラムによる研修支援体制も整っており、質の高い活動と市民サービスが提供できるものとなっている。総じて費用対効果の高い事業であると評価できる。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 現在、堺市には約15,000人の外国人が在住しており、国際交流員は、生活情報のほか、新型コロナウイルス感染症関連情報や災害情報、緊急を要する情報を多言語化し、発信している。また、庁内における急な通訳対応や、市民ボランティア通訳では対応できないセンシティブな通訳を要請された場合にも対応している。

今後、更にグローバル化が進み、行政資料の多言語化は不可欠となってくることから、質の高い翻訳及び高い語学能力、国際的な視点での対応の必要性はより高まってくる。さらに、ウィズコロナ、アフターコロナにおける海外姉妹・友好都市等との幅広い分野での交流を促進していくためには、国際交流員の存在を欠かすことはできない。

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、翻訳・監修においてネイティブスピーカーの視点で、外国人市民に対する正確かつ迅速な情報発信を幾度となく行った。また、外国公館等との連携事業の一つである「チエコフェスティバルin関西2021」においては、人的・物的の両側面から本市施策のPRを行い、交流強化の一翼を担った。

以上のことから、本事業は、本市の国際化の推進に寄与するものであると評価できる。